

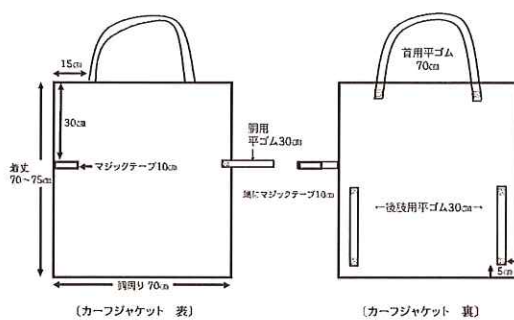
あいであ & アイデア

毛布等を利用した手作りカーフジャケット

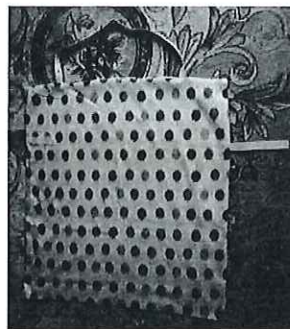
宗谷農業改良普及センター 榎田 純子

背景・ねらい

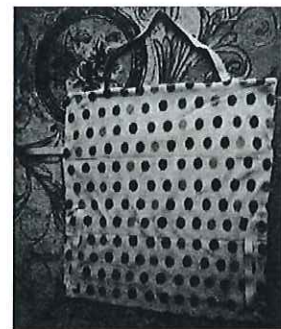
寒さの厳しい北海道、寒さに弱い子牛には防寒対策が必要です。ハッチにヒーターや湯たんぽを入れたり、ネックウォーマーを着用させたりと各戸で様々な対策がとられています。今回は、防寒対策のひとつとして取り組まれている手作りカーフジャケットについてご紹介します。



カーフジャケット製作図



カーフジャケット 表



カーフジャケット 裏

材料・作り方

[材料]

- *毛布75cm(着丈)×70cm(胴回り)(着丈、胴回りの長さは、着せる牛のサイズに合わせ変更)
- *平ゴム2.5cm幅×150cm(首、胴、後肢を通す部分を全て平ゴムで作る)
- *マジックテープ2.5cm幅×10cm
- *スナップ3ヶ(スナップを首ひもにつけて長さを調整できるようにする)

[作り方]

- ①平ゴムを30cm(後肢用)2本、20cm(胴用)1本、70cm(首用)1本に切り分ける。
- ②マジックテープの片面を20cmの平ゴム(胴用)の端に縫いつける。
- ③平ゴム(首用)にスナップを両端から5cm、10cm、10cmの間隔をあけ縫いつける。
- ④毛布の裏面、図の位置に平ゴム(後肢用)を縫いつける。(牛の脚が入るようにちょっと

たるませて、ゴムの両端を生地に縫いつける。)

⑤マジックテープの片面（胴用）を毛布の表面の図の位置に縫いつける。

⑥平ゴム（胴用）と平ゴム（首用）を図の位置に生地に縫いつける。

【着せ方】

①ジャケットを牛の体にかける。

②後ろ肢を片足ずつ、後ろ肢用のゴムに通す。

③首用のゴムに頭を通す。

④胴部のマジックテープを留める。

⑤首用のゴムのスナップを留め、ゴムをジャケットの内側に折り込む。



【着せ方①】後ろ肢を平ゴムに通す



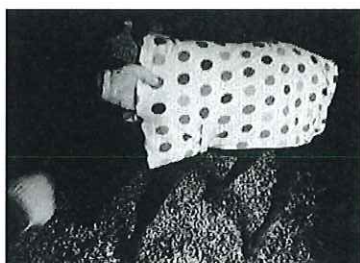
【着せ方②】首に平ゴムをかける



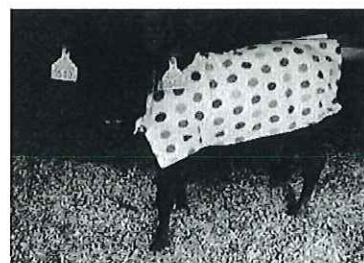
【着せ方③】胴部のマジックテープをとめる



【着せ方④】首もとのスナップをとめる



【着せ方⑤】ゴムの先を首もとに
おり込む(ひっかけ防止のため)



カーフジャケット着用の様子

効果

「カーフジャケットを着せたら、冬場の子牛の増体が良くなった」と実践した農家から感想がありました。こうした効果を実感してか、カーフジャケットの普及が進みました。

1枚布なので、着せ終わったら流水でざっと汚れを落として乾かせるのも利点です。

この時期は安価なフリース生地や膝掛け毛布等が手芸店等で出回ります。明るい色、かわいらしい柄の生地でカーフジャケットを手作りして子牛に着せると毎日の哺育作業にもハリが出るようです。

(筆者：宗谷農業改良普及センター 主査)